

業界団体 トップに聞く

フォーマル産業に関連するメーカーや小売り、サービス、学校関連、個人が加盟する日本フォーマル協会。セシモニやイベントなどの復活で、業界には活気が戻ってきている。新規会員も増えており、フォーマルのマナーやスタイルなどの啓発を改めて事業の軸に据えて、業界を盛り上げていく。

多様性にも対応

——フォーマル業界の現状は。

コロナ禍で自粛や延期されていた結婚式やセシモニなどがコロナ禍前の状況に戻りつつあり、市場の盛り上がりを感じます。一方で、身近な人で祝う結婚式や家族葬など、形式や環境は変化してき

日本フォーマル協会

小泉純一理事長



ています。多様化や時代に対応したフォーマルの提案も重

セシモニなど復活で活気

ルを提案していくことが大事だと思っています。

ライセンス事業強化

——軸となる取り組みは。ライセンス事業では、6月のシルバーライセンス検定には、60人の参加がありました。コロナ下では20〜30人だったので、店頭の盛り上がりもあり、ルールやマナーに対

を取らせたい」など、問い合わせが増えることもうれいですが、今後力を入れていきます。

——会員数が増えている。

10月3日には、ベストフォーマル賞授賞式を行います。コロナ禍で中止していましたが、昨年4年ぶりに再開し、重要なイベントと捉えています。

要になっています。

実店舗にはお客様が戻り、好調な店舗も見られ、着こなしてはこれまでのアンサンブルから、ワンピースだけのスタイルも増えています。マナーなどを聞きたいお客様は多く、販売員の接客力もより大事になっています。ですが、フォーマルの基本はしっかりと押さえながら、新しいスタイ

する関心が高まっているように感じます。

検定は誰でも受けられるもので、今年には会員企業ではない百貨店の担当者の参加もあり、「シルバー取得後はゴールドライセンスも受けます」と、ルールやマナーを学ぶことが広がっています。また、学生向けのプロンズライセンスには「生徒に資格

個人の表現や多様化が広がっており、セシモニなども様々なスタイルや着こなしが増えています。その中で、「着てみたい、憧れる」ものを世の中に訴えていくことは、ドレスニーズを高めていくことにつながると思っています。受賞者が着用したドレスを見ていただく場は、今後重要な取り組みとして続けて

いきます。会員はコロナ禍で、退会や休会で減少しましたが、現在は前年から13社増えました。新規のほか、退会した企業の再加入もあります。サブライチエーンも含めて、「一緒に盛り上げていきたい」など、協会の活性化も進んでいます。

総会などを通して、会員企業同士のコミュニケーションも大きな役割で、さらに会員増は強化していきます。

■日本フォーマル協会 76年、フォーマルスタイルの普及や関連産業の振興を目指す組織として設立。フォーマルに関わる各種スペシャリストやコーチの養成・普及、支援を基本方針に実施、マーケット調査・研究、イベント開催などの事業に取り組んでいる。7月末時点の企業会員数は59社。